



2025年稲門祭に向けて

巻頭言

顧問 鈴木紳互 (一文)



写真・稲門祭での「フクちゃん」出店

フクちゃん出店でお馴染みの**稲門祭**。いわば早稲田大学卒業生による早稲田祭ですね。なんと、2025年是我々**1985年次稲門会がメイン幹事**として稲門祭の中心を担う、当たり年なのです。

様々な企画、祭の運営、記念品の販売などを通じて、自身の人生と母校とのつながりや関わりに感謝し、還暦を過ぎた我々世代がいよいよ人生の実りの時期に進むための礎となるような経験ができると思うと、今からめっちゃめっちゃワクワクしています。

さらに稲門祭での収益により現役学生は奨学金を得られ、幹事の我々は得難い素敵な経験と仲間の絆を得られるのです。まさに、ワセダに感謝、【ありがとう、ワセダ】なのです。



2025 稲門祭は、メタ穂会にとっても大きな集大成の事業と言えます。2023・2024年ときっちりフクちゃん出店を通じて盛り上げ、2025年には祭の中心メンバーとして全体を盛り上げるために、皆で今からワクワクしながらも周到で念入りな準備をしていきましょう。一層のメタ穂会の団結と結束が今こそ大切です。明るく楽しく元気よく、頑張ってください！

わたしたち「1985年次稲門会」は、早稲田大学1985年卒業または1981年入学の同期の集まりです。基本的に同期約8500名全員が会員で、さらに「自分は85年次稲門会だ」と思う早大卒業生も対象です。

2010年の発足以来、①同期の親睦 ②母校への協力 ③社会への貢献 をモットーに、精力的に活動を継続してきました。会費は無料とし、各種イベント収益の一部と校友会からの補助金で運営しています。

本会の各種ご案内など情報共有&交流の場として公式ウェブサイトを設けています。また、Facebook やLINE(「メタ穂会」で検索)でも日常的に会員間の交流を図っています。お気軽にご参加ください。



早稲田大学校友会  
**1985年次稲門会**

公式ウェブサイト  
<https://waseda1985.com>



## 2022 年度 年次総会 報告

「1985 年次稲門会」2022 年度定期総会が昨年 9 月 23 日(金・祝)13 時よりリアル&オンラインで開催されました。リアル会場は早大南門通りの TAKATABOKUSYA(高田牧舎)。

三浦正孝副会長の司会で始まり、辻村義弘会長、続いて飯田美奈子幹事長の挨拶。その後下掲のとおり各議案がいずれも賛成多数で可決されました。

最後は小野副幹事長のスピーチで幕を閉じました。久しぶりのリアル開催で盛況となりました。

### ●第 1 号議案 2022 年度事業報告

2021/10/23	総会(オンライン併用)	2022/2/23	お互いを語り合う会
2021/10/24	稲門祭オンライン開催	2022/3/21	合同幹事支部長会(オンライン併用)
2021/10/30	秋季ゴルフコンパ	2022/3/21	花見会 <b>中止</b>
2021/10/31	六大学野球早慶戦(秋季)	2022/4/17	早慶レガッタ応援 <b>中止</b>
2021/11/17	幹事会(オンライン併用)	2022/5/19	幹事会(オンライン併用)
2021/11/23	ラグビー早慶戦	2022/5/29	六大学野球観戦(春季)
2021/12/5	ラグビー早明戦	2022/6/16	幹事会(オンライン併用)
2021/12/10	忘年会	2022/6/18	せんべろ企画1 上野御徒町
2022/1/2	箱根駅伝応援(オンライン)	2022/7/14	幹事会(オンライン併用)
2022/1/2	ラグビー大学選手権準決勝(オンライン)	2022/7/28	せんべろ企画2 飯田橋
2022/1/27	新年会(オンライン)	2022/8/18	幹事会(オンライン併用)
2022/2/16	幹事会 <b>中止</b>	2022/9/8	幹事会(オンライン併用)

### ●第 2 号議案 2022 年度会計報告

#### 2022年度決算

第12期: 2021年9月1日~2022年8月31日

収入		支出	
項目	金額	項目	金額
前年度繰越金(A)	344,077	総会開催補助費充当	10,000
総会開催補助費	10,000	イベント開催補助費充当	50,000
イベント開催補助費	50,000	母校支援費充当	200,000
母校支援費	200,000		
		※下記支出充当における原資	
組織強化補助費合計(B)	260,000	校友会組織強化補助費充当内訳	
		総会事業支出	12,500
		イベント開催経費	4,700
		早稲田サポーターズクラブ寄付	50,000
事業収入合計(C)		0 事業支出合計(D)	67,200
預金利息		2 稲門祭広告費用	25,000
		代表高議員会費	30,000
		他雑費(振込手数料等)	2,020
		事業外支出計(E)	57,020
事業外収入計		2 次年度繰越金(F)	479,859
合計(A+B+C+事業外収入)	604,079	合計(D+E+F)	604,079

## ●第3号議案 2023年度事業計画

2022/10/23	稲門祭	2023/2/16	幹事会
2022/11/6	六大学野球早慶戦(秋季)	2023/3/16	幹事会 兼 支部長会
2022/11/9	校友会秋季ゴルフコンパ	2023/3/25	花見会
2022/11/12	フクちゃん復活祭	2023/4/16	早慶レガッタ
2022/11/23	ラグビー早慶戦	2023/5/28	六大学野球早慶戦(春季)
2022/11/29	ALL 早慶戦(in 茨城)	2023/5/18	幹事会
2022/12/4	ラグビー早明戦	2023/6/15	幹事会
2022/12/16	還暦大忘年会	2023/6 未定	春夏企画
2023/1/2	箱根駅伝応援	2023/7/20	幹事会
2023/1/2	ラグビー大学選手権準決	2023/8/24	幹事会
2023/1/28	新年会	2023/9/23	総会(予定)

## ●第4号議案 2023年度予算計画

## 2023年度予算

## 第13期:2022年9月1日~2023年8月31日

収入		支出	
項目	金額	項目	金額
前年度繰越金(A)	479,859	総会開催補助費充当	50,000
総会開催補助費	50,000	イベント開催補助費充当	50,000
イベント開催補助費	50,000	母校支援費充当	200,000
母校支援費	200,000		
		※下記支出の充当原資となります	
組織強化補助費合計(B)	300,000	校友会組織強化補助費充当内訳	300,000
総会事業収入	200,000	総会事業支出	250,000
夏企画事業収入	100,000	夏企画事業支出	150,000
事業収入合計(C)	300,000	事業支出合計(E)	400,000
預金利息	10	校友会協力寄付	50,000
グッズ・焼酎ラベル売上	50,000	早稲田グッズ等仕入	30,000
		代表高議員会費	30,000
		稲門祭広告費用	25,000
		他雑費(振込手数料等)	2,000
		事業外支出計(F)	137,000
事業外収入計	50,010	次年度繰越金(G)	592,869
合計(A+B+C+事業外収入)	1,129,869	合計(E+F+G)	1,129,869

## ●第5号議案 会則の改定

- ・役員会を廃止し、その権限及び機能を幹事会に移管する。
- ・役員に顧問を新設し、会長経験者を就けることとし、併せてその職務を定める。

## ●第6号議案 役員の変動

- ・顧問 小寺 浩二(理工)
- ・顧問 鈴木 紳互(一文)

**2023年度総会は  
9月23日(土)予定です**

最終ページのご案内をお読みください

2023  
夏企画柏崎刈羽原発視察 &  
弥彦神社・弥彦酒造

## 温泉ぜいたくツアー

ツアーサポーター

副幹事長

小野 惣一 (理工)

柏崎刈羽原子力発電所総面積は420万㎡、東京ドームの90個分に相当し、合計7機の発電設備があります。この発電設備は柏崎市と刈羽村にまたがり、総出力821万kw(黒部ダム約25倍の発電力量)という世界最大級の発電設備ですが、現在は休止しています。

もともと2019年に企画していたこの視察ツアー、当時大阪サミットの影響を受けて入館制限となり延期致しましたが、コロナ禍も終わりようやく実現しました。参加者は11名、メタ穂からは辻村会長、飯田幹事長あわせ7名、近隣からは渋谷稲門会の金子会長、江東稲門会の森田会長、尾島都議会議員、内野区議会議員など、とってもバラエティーに富んだ仲間たちです。金子会長は、当地の弥彦酒造の社長でもあり、今回の宿と酒蔵見学のアレンジをしてくださいました。

7月1日(土) 7時30分に長岡駅に集合し、8名乗りのミニバン2台レンタして出発です。柏崎付近



恋人岬から佐渡島を指す

は土砂災害警報との予報もありましたが、まずは日本海側の新潟・恋人岬に立ち寄りしました。天気が良ければ最高の絶景ポイントです。還暦過ぎて、昔恋人だったご夫婦で行っても良いかもしれません。絶景の日本海が見られます。

お食事処「とみ家」で腹ごしらえ、超人気のお店で普通は予約できませんが、東電の紹介で何とか予約することができました。正午前から待つ人が列をなしていました。人気メニューはジャンボエビフライ2本付きの定食、または海鮮丼。エビフライは流石看板メニューだけあって、口を大きく開けても入らないほどの大きさです。皆さん満腹で1,700円はかなりのお値打ちです。



とみ家から車で15分ほど、柏崎刈羽原子力発電所に到着。外からは森林に囲まれ発電施設は見られません。空港の滑走路くらいの大きさでしょうか？東京ドーム90個分はとてつもなく大きい。一般駐車場は発電施設とは離れたビジターセンター前にありま

す。原子力発電所の職員の方が6名ほどで出迎えてくれました。メタ穂会はVIP待遇です。



センターの中に入る前に **ビジターセンターエントランスで** まずは検問、事前登録した身分証明との照合、時代が時代で結構厳しいチェックでした。照合が終わるとセキュリティ完了の入門許可証を頂き、これで第一関門クリアです。

1985年次稲門会歓迎のレセプション

最初にビデオで原子力発電の全体像の説明が行われました。発電所のタービン建屋1機



を管理していた責任者で現在広報部の三五様が詳細を説明して下さいました。技術屋でもあり専門的で詳しいです。まずは、ビジターセンターの模型で原子力発電の仕組みについてのご説明。それからメディアで話題の発電再開に向けての取り組みについても、検査状況なども話して下さいました。仕組みについては、ここでは書ききれないので、ホームページをご覧ください。

[https://www.tepco.co.jp/niiigata\\_hq/kk-np/index-j.html](https://www.tepco.co.jp/niiigata_hq/kk-np/index-j.html)

ここからは、専用車に乗り換えて施設内に入ります。ゲートはセキュリティ対策上一か所のみ。昔の成田空港を上回る厳重な検問です。テロ対策も兼ねて



いるとのことでした。広大な構内に入りました。まずは全貌が

原子炉建屋内  
原子炉の前で

望める津波も届かない高台へ。そこには貯水池と給水車が待機しています。福島同様の津波にも耐えられる防波堤と緊急発電対策が施されています。一周してから原子力発電第6号機内部へ。専用バスを降りてから3回のセキュリティーチェックを受けて、やっと原子炉建屋内に入れます。まるで巨大な金庫に入るようなイメージ。現在はもちろん稼働していません。日々の点検を怠らず稼働する日を施設のスタッフは待ち望んでいます。その隣はタービン建屋、この6号機だけで135万kwを発電する巨大な装置に圧巻。ここも稼働していません。

点検整備のため原子炉の格納蓋が空いていた



2011年の災害を受けて原子炉を停止し、既に災害対策に1兆円以上を投じ、更に日々の保守メンテの為に数千人の人がサポートしているこの柏崎刈羽原子力発電所。稼働には賛否ありますが、1兆円以上の対策費に数千人の人的費用をかけ稼働せず、電気代の高騰、電力不足をどうしたら問題が解決するのか？国民が真剣に向き合う必要があると、我々一行は同じ思いでここを後にしました。

我々の大きなミッションも終わり、これから弥彦温泉「みのや」に向かいます。ここから約50km、1時間ほど。みな頭も体も疲れ果てましたが、その前にメタ穂はこれだけでは終わりません。渋谷稲門会の金子会長が経営する弥彦酒造に立ち寄ります。

酒蔵の杜氏もお待ちかねです。大井杜氏兼責任者から弥彦酒造の『泉流』がなぜ美味しいか1時間ほど製造過程など説明を受けました。「雪のように清く、湧き水のように尊い、本物の国酒を愛する人へ。米か



弥彦酒造の酒蔵の入口



弥彦酒造の貯蔵設備にて



ら酒造りまで、すべてが弥彦村テロワール。水は江戸時代から続く当蔵の井戸から汲み上げ、米もすべて弥彦村産を使用。新潟県で初めて山田錦を栽培するために、深水栽培するなど工夫を凝らし、減農薬・無化学肥料で栽培。弥彦村の水、米、人の手で酒造りに取り組んでいます。だから美味しいのだそうです。早く宿に行って飲みたい！全員その気持ちでいっぱいだったでしょう。



金子会長がデザインした弥彦酒造の法被は豪華

やっとの思いで320年の歴史を誇る旅館「みのや」に到着しました。歴史ある温泉に入り、それから宴会。宿の浴衣着での懇親会は最高ですね。杜氏の説明が更に宴会でも続きます、それだけ酒の味のわかる仲間たちが嬉しいのでしょうか。



みんなで疲れをいやしながら乾杯



歴史あるみのやの女将も一緒

7月2日(日) ドライバー以外は二日酔い気味。それでも露天温泉に入り、昨日の天気とは変わって晴天の山々、2000年以上の歴史ある神の山、弥彦山を眺めながらのお風呂は酔いも醒ますほど爽快な気分です。朝食も贅沢で、新潟米から新潟の幸三味の朝食にもみなさん満足です。満腹のあとは運動が待っています。

宿から100mほどのところに弥彦神社の鳥居があります。「それは2400年、悠久の歴史 おやひこさま 宏大な越後平野に聳える霊峰弥彦山の麓 御手洗川の流れ清く 松杉鬱蒼として 神気満ちる杜に坐す 彌彦神社は 肇国の功神にして『おやひこさま』と慕われる越後開拓の祖神 天香山命を奉祀する北越鎮護の名社として 上古より今日まで 高き尊き御神威に耀いています」。それを知るためにここ本殿までやってきました。その先の弥彦山山頂には神の源があります。

そこへはロープウェイに乗って、更に20分ほど山道を歩かなければなりません。みな汗だくになりながらも、誰も引き返すこと



なく、リタイヤすることもなく山頂神社まで辿り着きました。2400年の歴史ある山々からの絶景が待っていました。佐渡島

も一望です。絶対に一度は行くべきところですね。

ツアーは終盤です。弥彦から寺泊港にお昼の立ち寄りです。ここ日本海の魚のアメ横と呼ばれる海鮮市場は活気を取り戻していました。どこも満席です。「角上(かくじょう)魚類」にターゲットを絞り、皆さん好きに買ったのランチ。カニもホタテもつづ貝もウニもエビもみな新鮮で美味しそうです。私はウニ丼に地元ネタの寿司でしたが、カニの甲羅焼きなども食べたいのに、これ以上は入りません。胃袋があと3個欲しかった。無念にて、次回に繋げたいですね。



寺泊のお昼で終わらないのがメタ穂ツアーの魅力。最後のトドメ、ここには新潟県長岡市出身の有名人山本五十六の記念館があります。五十六は太平洋戦争の連合艦隊司令長官として有名です。彼は元々高野家の6男として生まれ、父親が56歳の時に生まれたため五十六と名付けられたそうです。1919年に米国ハーバード大学に留学し、最も米国の事を知っていた人物であり、米国との戦争に最後まで反対していたことはあまり知られていないと思います。「やってみせ、言って聞かせて、させてみせ、ほめてやらねば、人は動かじ。話し合い、耳を傾け、承認し、任せてやらねば、人は育たず。やっている、姿を感謝で見守って、信頼せねば、人は実らず」などの名言を残しています。ここには五十六の生家もあり、是非とも訪れてこの生家をご覧ください。この小さな日本を大きくした魂がここに眠っている気がします。これも贅否ありませんが、真実をご覧ください。

ツアーはここで終わります。最後は新幹線で東京に着くまで宴会、これもメタ穂です。



原発の視察から始まり考えさせられることが沢山あったこのツアーです。再稼働についても日本の未来のために真剣に向き合った方が良く、私個人としてはその必要性を感じました。メタ穂+近隣稲門会の方々、新しい仲間とも親睦を深められたこのツアー、次回の企画も乞うご期待。現地にてご案内くださった東京電力柏崎刈羽原子力発電所のスタッフの皆さま、弥彦酒造の皆さま、参加してくださいました皆さま、有難うございました。お疲れ様でした。



メタ穂のくにからこんには  
伊勢美食紀行より  
～餅街道余話～

支部局だより  
三重編

三重支部長 太田 義人 (一文)

三重県の名物と言えは、「赤福」が有名ですが、お伊勢参りで賑わう街道沿いの数多の茶屋での名物餅も生まれました。手早く食べられて腹持ちが良いということで、今で言うファストフードと言うところでしょうか。

また、その種類の豊富さゆえに、いつしか「餅街道」と言われるようにもなりました。江戸時代には東海道をはじめ、伊勢道、伊勢別街道、大和街道、伊賀街道、和歌山街道、熊野街道、熊野脇街道、二見道などと呼ばれる多くの街道があり、人々は往復の宿泊・休憩に飲み物や食事をとって空腹や疲れを癒しました。県内の多くのお餅はこうして発達し、今日まで受け継がれてきました。

東海道筋では桑名の「安永餅」、日永の「なが餅」があります。細長い形で、米粒を模しているとも言われています。厚みは1cm前後、中に餡が入って、両面焼いたもの。

関西方面からの大和街道、初瀬街道、伊勢本道筋には、津の「けいらん」、相可の「松かさ餅」、松阪の「いが餅」、関の「志ら玉」があり、円形で厚み1-2cm、中には餡が入っています。表面にピンクや緑、黄色に着色したもち米が散らしてあり、華やかな雰囲気醸しています。

伊勢周辺では先ほどの「赤福餅」はじめ、「お福餅」、「二軒茶屋餅」、度会の「へんば(返馬)餅」、「さわ餅」、二見の「空也餅」などがあります。餡が外に付いているものから、餡をくるんでいるもの、餡を挟んだもの、球形に近い丸形など、形状は一様でなく、また使用材料も様々です。円形で厚み1-2cm、中には餡が入っています。

さっそく「餅街道」を北から下ってみましょう。

東海道筋の桑名から四日市にかけての北勢エリアには細長い餅が数多く存在します。桑名の「安永餅」、四日市の「なが餅」、鈴鹿の「立石餅」。四日市の笹井屋さんが天文19年(1550年)創業で最も古く、後に津藩36万石の大名となる藤堂高虎が足軽のころ出世払いで食したところ、たいそう美味と感動し、『武運ながき餅を食うは幸先よし』と大いに喜んだといひます。霊長類最強女子のレスリングの吉田沙保里さんも、大会中良く食したお陰で勝ち続けたと。出身地の津市にはサオリーナなる屋内総合スポーツ施設があります。

西の玄関口関には京の雅の影響からか、前田屋さんのこしあんを上新粉の生地で包んだ素朴な生菓子の「志ら玉」があります。三色の彩も鮮やかです。三種の神器の一つである勾玉をイメージして考案。

津の「けいらん」も有名で、玉吉餅店さんは大門にある創業150年のお店です。けいらんの謂れは不明ですが、白くて卵(鶏卵)のようだからとも言われているようです。

少し脱線しますが、大門の近くの平治煎餅さんは稲門OBの経営です。大きな声では言えないそうですが、早稲田大学のオリジナルたまご煎餅を作っているようです。素朴な味で三重県民には懐かしい味です。

さて伊勢参りの終点神宮周辺となれば、トップブランドの赤福はじめ目白押しです。内宮近くのおはらい町では、赤福餅、二軒茶屋餅、へんば餅、太閤出世餅、岩戸餅、神代餅のお店があります。好みはそれぞれですが、うちの家族は赤福食べて、へんば餅がお土産です。

また話はそれますが、赤福本店から少し北に歩いたあたりに利休饅頭の藤谷窓月堂があります。その名のとおり千家の宗匠より名づけられたということです。そこが御実家なのが商学部卒の故・藤波孝生元官房長官です。

リクルート事件で失脚しましたが、将来は総理かと地元民は期待していました。

蛇足ですが、憲政の神様といわれた尾崎行雄の地盤は三重県南部です。軍部の圧力に抗して、連続 25 期 63 年にわたり国政に送り出したそうです。神奈川出身、慶応中退ですが。

余談が長くなりました。暑い夏は出歩くのが嫌になりますが、夏の参拝後の赤福氷はキーンと来ますよ。ジェイアール名古屋高島屋での提供もあるようですが、餅街道を下って最後に赤福氷で涼んでみませんか！

赤福



なが餅



けいらん



伊勢の餅々

志ら玉



へんば餅



赤福(盆)



赤福氷



メタ穂会三重支部は、日本一に向け駅伝部を全力で応援します



## 花見でせんべろ in 中野

せんべろ幹事 代々木理方 (法)

2023年3月25日(土)に、「メタ穂 桜の樽俎(そんそ)」と銘打った、呑み助の呑み助による呑み助のためのお花見を、東京都中野区内にて催した。「樽俎」とは酒樽と生贄台のことで、転じて宴会を表す。また、今さら説明ご無用だろうが、「せんべろ」とは千円でベロベロになるほど酔っぱらえる安上がりな店や飲み会を言う。

あいにくの小雨模様となったが、今年は春の訪れが早く、折しも桜は満開。起点の西武新宿線新井薬師前駅に集まった風流人7名は、花の名所を徒歩で巡る。飲み飲み歩くのもご自由に。自己責任で。

<お花見ルート> 正午 新井薬師前駅 → 哲学堂公園 → 中野通りの桜並木 → 梅照院(新井薬師) → 新井薬師商店街(参道) → 14時 中野駅北口飲食店街

西武沿線は、学生時代住んでいたたり、終電に乗り遅れて友人のアパートに泊ったりした輩も多いはず。当時を懐かしみながらそぞろ歩きを楽しむ。雨のお陰で人影もまばら、哲学堂から中野駅までのおよそ2kmに及ぶ見事な桜のトンネルを堪能した。

中野ブロードウェイの東側にある迷宮のような飲み屋街は、40年前と変わらず有象無象…いやバラエティに富んだ人たちが吹き溜まる…いえ、集う街だった。かつて以上に若者の姿が目立ち、昼飲みできる店も増えたようだ。ありがたいありがたい。



春雨で冷え切った一行が暖を求めて最初に入ったのは神田屋中野北口店。中野でも神田屋。安さに定評のあるテンアライド(天狗)系列の中でもとりわけ安い店だ。ここで飲み会だけ参加の諸氏と合流。

たださえ昼酒は効くというのに、止めどなくお代わり。



それぞれの帰属社会においてはそれなりの地位にいるであろう分別も紋別もあるいい大人たちが、明るいうちから寄り集まって人目憚らぬ馬鹿騒ぎ。ああ楽しい。あまりにも周りの迷惑になるような場合は、K.O.の集まりであることを匂わせるとよいだろう。

店を追い出された(2時間制だからだよ)



我々が次に入ったのは、たまたまこの日開店したばかりの居酒屋で、生ビールだか生牡蠣だかが100円の大特価。持ってますね!(死語)

さらにさらに、昭和歌謡パブになだれ込んで、70-80年代J-POPsを矢継ぎ早にリクエスト。マイクがあれば歌うところだった。

その後もどこかに流れたようなかすかな記憶があるが定かでない。どう帰ったのかも…。

また同様の催しを企画したく思いますので、その折はご家族もお誘いの上、奮ってご参加ください。



## 小旅行記 「どうする家康」を巡る

松野 真一 (理工)



2023年6月3日～4日に、「どうする家康」を巡る旅で、岡崎に行ってまいりました。

前日の台風2号と梅雨前線の影響で西日本を中心に各地に大雨の被害。東海道新幹線も3日の午前中は運休という、おもわぬアクシデントの中での旅行開始となりました。

初日は岡崎城周辺の散策、二日目は岡崎大河ドラマ館、家康の菩提寺の大樹寺、三河一向一揆で有名な本證寺を観光。加えて、早稲田大学第二校歌といわれる、「人生劇場」の原作者である尾崎史郎記念館も観光しました。



参加者の中には、岡崎・三河方面に縁のある方もいて、食事選びには困ることなく、三河のうなぎ、味噌煮込みうどん、名古屋モーニングも堪能でき、歴史観光に加えてグルメ旅もできました。

あっという間の1泊2日で、非常に充実した楽しい時間を過ごすことができました。今後、年1回程度は、お城・ドライブ・鉄道等をテーマにした小旅行を企画したいと思います。なにか、企画をお持ちの方がいらっしゃれば、是非お持ち込みください。一緒に企画できればと思います。





フクちゃん影の店長 岩佐浩光 (理工)

メタ穂会の稲門祭「フクちゃん」復活企画(チョコトン、チーメン販売)は、かつて西門の名店「フクちゃん」の元店主・金刺正巳さん(83)のご指導のもと 2011年の稲門祭から毎年出店し稲門祭を訪れたOB, OGの皆様から大変懐かしく喜んで頂いていました。

しかし 2019年の我々がホームカミングデー該当年、翌年からのコロナ禍により4年間稲門祭での出店が出来ずにいました。

そのような状況の中、稲門祭での出店復活を期待して昨年11月22日(土)に金刺さんにもお越しいただいて、『フクちゃん復活祭』

としてチョコトン、チーメンのレシピ体験会を実施しました。

会場は飯田幹事長のホームグラウンド、亀戸クロスゲートタワーのBeAc t亀戸のキッチンスタジオをお借りして開催しました。進行はチョコトン、チーメンを揚げさせたら天下一品の三浦副会長。金刺さんのお店にまつわるエピソードや瀬古利彦さん、岡田彰布さん、石井浩郎さんとかかわりなどをご披露頂いた後、いよいよ4年ぶりのチョコトン、チーメン、大人の料理教室のスタートです。

金刺さんから手取り足取り教えてもらい本番さながらにロース肉にチョコを乗せて溶け出さないようにばら肉で挟んで、チーメンはとろけるチーズをミンチ肉に挟み込み、卵と水に溶いた小麦粉に入れ、パン粉を付けて揚げました。普段台所に立たない人も参加者一人一人が体験し、久しぶりにチョコトン、チーメンを完成しました。出来上がったチョコトン、チーメンを熱々のまま試食して大満足の復活祭となりました。

今年の稲門祭は、5年ぶりに「フクちゃん」復活企画の出店を行います。販売スタッフとして未経験の方でも大歓迎です。お店に来て売り上げに貢献していただいても結構です。みなさんのご来店を心からお待ちしております。メタ穂の仲間と一緒に稲門祭を盛り上げていきましょう!!!



# 1985 年次稲門会(メタ穂会) 2023年度 定期総会

今年はリアル会場です オンラインはありません

第 14 回総会&懇親会のお知らせです。日頃、校友同志でつながりのある方、ない方を含め、ご都合がよろしければ、ぜひ「1985 年次稲門会」に集いませんか！皆さん、お一人おひとりの心のふるさとである早稲田。そのふるさとで同じ時間を共有した仲間たちと、楽しい有意義な時間をご一緒に過ごしましょう。今年には新型コロナの行動制限緩和により、4年ぶりにリモートなしの対面形式で開催いたします。同世代の年次稲門会ですので、気を遣うことはありません。ご参加のご連絡を心よりお待ちしております。最新情報は 1985 年次稲門会ホームページ <https://waseda1985.com/> に掲載されています。

<日 時> 2023年 9月 23日 (土・秋分の日)

13時00分～15時00分 予定

12:30	会場受付開始
13:00	総会 総会后、引き続き懇親会
15:00	終了予定

<会 場> 後楽園飯店 JR 総武線または都営三田線「水道橋」徒歩3分  
<https://www.tokyodome-hotels.co.jp/restaurants/list/hanten/>  
後楽園ホールビル 2F 東京都文京区後楽 1-3-61 TEL. 03-5805-2237

<会 費> 事前振込 7,000円 (9月15日までにお振込みください)  
<振込先> みずほ銀行早稲田支店 普通 2257954  
口座名 1985 年次稲門会 (1985 ネンジトウモンカイ)

当 日 8,000円

<参加方法> 下記項目を明記してメールでお申し込みください。

宛先 [white375@live.jp](mailto:white375@live.jp) 幹事長 飯田美奈子

- ①卒業学部 ②お名前 ③メールアドレス ④電話番号 (任意)  
⑤現住所のある都道府県 (任意) ⑥その他 (近況、質問など)

ご質問などございましたら、1985 年次稲門会ウェブサイト、Facebook メタ穂会(W85)等にもお気軽にお問い合わせください。また、当日お困りのことがございましたら下記にご連絡ください。朝田賢治副会長(090-1530-1443) か 飯田美奈子幹事長(080-4296-1375)

最新情報は公式ウェブサイト  
<https://waseda1985.com/>  
のご確認もお願いします。



1985 年次稲門会 会長 辻村義弘 & 幹事一同